

平安王朝における  
食材と料理

# 千年の 食卓



2008年8月21日(木) 15:00-17:00  
地球研・講演室

講師：堀場弘之氏 (料理人・京料理 六盛 主人)

申込不要  
聴講無料

# 第13回 人と自然：環境思想セミナー

## 千年の食卓

### 平安王朝における食材と料理



創作平安王朝料理（写真提供：京料理 六盛）

2008年は源氏物語千年紀。京都では展覧会や講演会など関連行事が目白押しだ。ちなみに今年は、「日本美術の恩人」ともいわれるアーネスト・フェノロサの百年忌でもあり、現代音楽に清澄な「祈り」の旋律をもたらしたオリヴィエ・メシアンが生誕百年でもある。それぞれにやはり記念事業が予定されているという。

節目の年ごとに人々は過去を想起し、その偉大さに思いを馳せる。そこに自分たちの原点を見出し、守り伝えていかなければならないものは何なのかを確認すべく、節目の年は喧伝される。しかしながら、そのように喧伝されるのは、いかに類いまれな事績であったとしても時の流れの中でやがて忘れ去られるのがないからだろう。忘却は喪失にひとしい。節目の年とは過去の偉大さにあらためて感嘆するとともに、失われたものの大きさ、そこからあまりにもかけ離れた現在の姿に絶句する年でもある。だからこそ守り伝え、次代へ何かを残そうとするのであろうが、

はたして残すべきものが現代の私たちにあるのかどうか。守ろうとしているものはもしかしたら空疎な抜け殻ではないか。そもそも守る力さえもはやないかもしれない。節目の年として過去を顧みる度にそんな疑念にとらわれる。

だが、それもこれも、たとえ過去のことであったとしても何かが続いているにちがいないし、それを受け継ぐ現代の私たちは将来へと何かを持続させねばならない、という思い込みからではないか。むしろ断絶をよしとしてみよう。所詮ひとは忘れるものなのだから。まず持続ありきの議論には意味がない。発見する喜びに満ちた断絶の繰り返しこそが文化というものの本質ではないか、とも思う。

京都岡崎、疏水のほとりにたたずむ京料理「六盛」。その当主である堀場弘之さんは、日本の食文化の良さを見直そうという思いから、まさに千年という時間を越えて京料理の源流を問いたずねてこられた。そうしていまから14年前、建都千二百年を記念して平安貴族の正餐を蘇らせ、以来大勢の食通の口を楽しませてきた。いわく「創作平安王朝料理」。今回のセミナーではその「創作」にいたった過程をうかがうとともに、文化の持続性ということで問われているものは何なのか考えていきたいと思います。本セミナーが新たな発見の喜びをもたらす機会になれば幸いです。

（環境思想セミナー担当：鞍田 崇）

【講師】 堀場弘之氏 HORIBA Hiroyuki

料理人・京料理「六盛」主人。1947年京都市生まれ。京都産業大学経営学部経営学科卒。1991年、京料理六盛の三代目当主を継ぐ。1994年、平安貴族の料理に関する文献との出会いから、当時の正餐を「創作平安王朝料理」として復活。丹念な史実考証や故実に基き、完成までに五年の歳月を注いで創作再現した。

日時：2008年8月21日（木）15:00-17:00

会場：総合地球環境学研究所（地球研）講演室

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山475-4

申込不要・聴講無料

主催：大学共同利用機関法人 総合地球環境学研究所  
文明環境史領域 プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」  
（リーダー：佐藤洋一郎・地球研教授）  
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project>

#### 【アクセス】

- JR・近鉄・阪急沿線より  
京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。  
国際会館駅バスターミナル2番乗場から京都バス40系統  
（京都産業大学前ゆき）にて、「地球研前」下車スグ。
- 京阪沿線より  
出町柳駅で叡山電鉄鞍馬線に乗換え、「京都精華大前」  
もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。
- 車・タクシーでお越しの方は  
国際会館より府道40号線で二軒茶屋方面へ。

人と自然：環境思想セミナー  
～今後の予定～

第14回／9月8日（月）  
「人間——この有限的なるもの：  
キリスト教における自然と原罪」  
中川明氏（カトリック垂水教会神父）

第15回／10月1日（水）  
「われわれは何を失ったのか：  
焼畑と日本の基層文化」  
姫田忠義氏（民族文化映像研究所所長）

第16回／11月20日（木）  
「気配の痕跡：  
展示デザインと空間の記憶」  
木下史青氏（東京国立博物館デザイン企画室長）

お問い合わせ

環境思想セミナー担当 鞍田崇（研究員）

075-707-2382 fax.075-707-2508 [kurata@chikyu.ac.jp](mailto:kurata@chikyu.ac.jp)

公式サイト

<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project/thought.html>